

マクドナルド・カップ

第50回青森県少年軟式野球大会(小学校の部)八戸市予選 実施要項

- 1 主 催 八戸市野球協会
- 2 後 援 八戸市教育委員会・(株)中村スポーツ社
- 3 目 的 八戸市内児童の体力向上と相互の親睦を図る
- 4 会 場 東運動公園野球場・長根球場・南郷野球場・西園小学校
- 5 会 期 2019年7月6日(土)、7日(土)、13日(土)
予備日：7月14日(日)
- 6 県大会 2019年7月27日(土)～29日(月) 三沢支部の予定
- 7 出場資格
 - (1) 八戸市内の小学校に通う学童のみで編成されたクラブチーム。ただし、スポーツ少年団との二重登録は認める。
 - (2) リトルリーグ・日本少年野球連盟など硬球を使用球としている連盟に登録(参加)している者は認めない。(KB野球連盟に登録している者は認める。)
 - (3) 1チームのメンバーは、監督・コーチ2名・選手20名以内とする。背番号は監督30番・コーチ28、29番・選手0～99番とする。
 - (4) チーム代表者、責任者は20歳以上の成人で、全ての責任を負うものとする。
 - (5) 監督、チーム代表者、責任者は、住居または勤務先が八戸市内にある者。
- 8 適用規則 最新版の公認野球規則及び競技者必携学童野球に関する事項及び別に定める特別規則を適用する。
- 9 使用球 公認球(トップボールJ号球)
- 10 参加申込 参加申込書と届出書を抽選日に提出すること。
- 11 その他
 - (1) 参加者については、健康診断を受けさせ、参加については保護者の同意を得るものとする。
 - (2) 学校管理下外保険等の加入についても全て責任者において処理すること。
 - (3) 県大会には予選会に出場し、成績優秀な2チームを八戸市野球協会長が推薦する。
 - (4) 用具は全日本軟式野球連盟(JSBB)公認の物を使用すること。
 - (5) シートロック時の補助員にはヘルメットを着用させること。また、捕手はフェイスマスク以外の防具を着用すること。フェイスマスクを着用しない場合はフィールドにもっていかないこと。
 - (6) 試合に出場する捕手及びブルペンの捕手には、ファールカップを着用させること。
 - (7) 全日本軟式野球連盟発行の競技者必携、特に学童野球に関する事項を熟読のこと。
 - (8) 大会期間中の連絡先は当協会学童部会事務局 三浦 純平(吹上小)とする。

申し合わせ事項

1 試合について

- (1) 準決勝より7回戦とし、その他は5回戦とする。
- (2) 試合時間は、5回戦においては1時間30分、7回戦においては2時間を超えたら新しいイニングに入らないこととする。
- (3) 5回戦の場合は3回終了まで、7回戦の場合は4回終了までにメンバー交換を行う。打順表は5回戦では5部、7回戦では6部持参する。また、打順表の女子選手の背番号を丸で囲むこととする。登録メンバー全員を打順表に記入。
- (4) 延長戦は特別延長戦とする。ただし、決勝戦は除く。
 - ① 5回終了または7回終了後行う、特別延長戦で勝敗が決しない場合は再度行い勝敗を決する。
 - ② 2回の特別延長戦で勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決する。その方法は試合終了時の選手によるくじ引きとする。
- (5) コールドゲームは、5回戦では3回終了10点差以上及び4回終了7点差以上、7回戦の場合は4回終了10点差以上及び5回終了7点差以上の2段階制とする。
- (6) 監督の抗議権は認めるが、監督・コーチのベースコーチは認めない。
- (7) ベンチに入ることができる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番・コーチ29番・28番および選手20名以内と、ユニフォームを着用しないチーム責任者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。
- (8) ユニホームとスパイクを着用しない監督・コーチはベンチ及びグラウンドに入ることはできない。
- (9) 試合開始予定時刻は、あくまでも予定であり、第2試合日以降は予定時刻の1時間前までには集合していること。
- (10) シートノックは準決勝から行う。時間は5分間とする。但し、運営の都合上シートノックなしにする場合もある。
- (11) 投手は変化球を投げることを禁止する。投球が審判員によって変化球と判断された場合は注意する。

注意したにもかかわらず、同一投手が再び変化球を投げた時は、交代させ大会期間中は投手として出場させない。
- (12) 抽選時予選辞退届出書を提出したチームは、大会に参加できるが代表権を得ても県大会を辞退する。また、届出書を提出したチームが複数あった場合は同一のブロックに入り試合を行う。

2 用具について

- (1) 金属製スパイクの使用を禁止する。
- (2) 公認マスクを使用する。
- (3) バットはJ S B Bのマークがついているものを使用すること。
- (4) 両耳付きのヘルメットを使用すること。
- (5) 捕手用ヘルメットはマスクと一体製のものの使用は認めない。
- (6) 捕手はプロテクター・レガース及びファールカップを着用のこと。
- (7) ローゼンは本部が許可しない限り、使用しない。

3 その他

- 球場内の打撃練習は、トスバッティングしか行うことができない。
- 決勝、準決勝、準々決勝とその前の試合において1日7イニングの投球制限を設ける。
- 大会期間中は試合終了後保護者の協力を仰ぎ、グラウンド整備に協力すること。
- 試合終了後、次の試合の塁審を双方のチームから1名ずつ出すこと。（審判講習会を受講した者が望ましい）大会初日の第1試合の塁審は、その球場の最終試合の双方のチームから1名ずつ出すこと。
- 試合には、ボール係、点数係として各チームから2名（大人、学童どちらでもよい）を出すこと。